



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム

開発途上国において社会的・経済的・環境的に持続可能な
カカオ産業の実現を目指すプラットフォーム

概要紹介資料



独立行政法人国際協力機構(JICA)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

開発途上国における サステナブル・カカオ・プラットフォーム概要



設立 2020年1月

事務局 独立行政法人国際協力機構(JICA)

会員数 企業/団体会員 66、個人会員 136 (2024年9月時点)

目的 開発途上国における**社会的・経済的・環境的に持続可能なカカオ産業の実現**をめざす関係者間の協働を促進することを通じて、その実現を図る上での課題の解決を推進する。

- 活動
- (1) 会員間の情報・経験の共有
 - (2) 会員間の協働の促進
 - (3) 国内外に対する発信 等

プラットフォームが取り組む主な課題



開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム概要

プラットフォーム目標



持続可能なカカオの生産と消費の実現に貢献する



児童労働

あらゆる形態の児童労働を終わらせることに貢献する



森林破壊

森林減少を食い止め、生物多様性の保全と気候変動緩和に貢献する



生計向上

カカオを主たる生計活動とする農家が生活所得を確保できるようになることに貢献する



持続可能なカカオの生産と消費



社会的な課題と取り組み

カカオ産業における児童労働・危険有害労働を予防・是正する

社会的な課題

● 児童労働

世界の子どもの10人に1人が児童労働(※)に従事*1

カカオの世界二大生産国であるコートジボワールとガーナのカカオ生産地域の、**子ども(推定156万人)の約2人に1人が児童労働**に従事*2

※児童労働:15歳未満の子どもによる労働と、18歳未満の子どもによる危険有害労働を指す。危険有害労働とはなたを用いた畑作業や、重い荷物の運搬、農薬の散布作業等が挙げられる。

世界の児童労働



コートジボワールとガーナのカカオ生産地域における児童労働



課題に対するプラットフォームの取り組み例

● 「児童労働の撤廃に向けたセクター別アクション*3」の策定(2022年)

児童労働分科会において、メーカー・商社・NPO等のセクター別に、児童労働の撤廃に向けた行動目標を策定



● ガーナの「児童労働フリーゾーン(CLFZ)」に関する支援

ガーナ政府が推進するCLFZの普及を支援し、児童労働の予防・是正に貢献するとともに、その取り組みを国内外に発信

● カカオ農家の子どもの教育支援活動に関する取り組みの共有

児童労働の予防・撤廃に向け、子どもの教育を支援する活動に関する会員の事例紹介を通じて、取り組みの拡大を推進



● サプライチェーンの透明化の推進

児童労働の予防・是正に取り組む地域の豆の流通拡大を目指し、生産地の情報を把握するためのトレーサビリティ確立に向けて、情報共有を実施例) 会員による児童労働監視改善システム(CLMRS)*4の導入事例など

Source

*1.2 Deloitte「児童労働白書」(2020) (5-17歳の子どもの45%, 156万人に該当)

<https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/child-labour-white-paper.html>

*3 児童労働におけるセクター別アクション(2022)

<https://www.jica.go.jp/Resource/press/2022/glkrij0000007uly-att/action02.pdf>

*4 児童労働監視改善システム(CLMRS):国際ココアイニシアチブ(ICI)による児童労働モニタリングシステムで、①啓発と監視②児童労働の特定③改善支援④フォローアップのステップを実施



経済的な課題と取り組み

カカオ農家の十分な収入を実現する

経済的な課題

- 多くのカカオ農家は、人間らしい生活を送るために必要な収入(リビングインカム)を得られていない。ガーナ、コートジボワールのカカオ農家の収入は、リビングインカムのうち70～80%程度とされる。^{*1}
- また、ガーナ、コートジボワールのカカオ農家のうち、リビングインカムを得られている農家は全体の3分の1程度とされる。^{*1}
- **カカオ農家の収入が不十分**であることが、社会的・経済的・環境的な様々な課題を引き起こす、または悪化させる要因の一つとなっている。
 - ① **児童労働**
必要な労働力を確保するために大人の労働者を雇う資金がない
 - ② **非効率な生産性**
生産性向上に必要な道具・農薬等の購入資金がない
 - ③ **環境保全に関する取組みの非対応**
環境保全のための追加的な取組を実施する資金がない。

課題に対するプラットフォームの取組み例

- **生産性向上に関する取組みの共有**
農家の生産性向上に関する農家トレーニング等、会員間での情報共有を実施
- **生活所得の向上に関する勉強会の実施**
生活所得の向上と、人権尊重や環境保全を行うための生産コストを考慮した適切な原料価格の設定に関する勉強会を実施



Source

*1: Fairtrade International

"Fairtrade Living Income Reference Price for Cocoa from Côte d'Ivoire and Ghana" (2022)

<https://files.fairtrade.net/Fairtrade-Living-Income-Reference-Price-for-Cocoa-update-1-Oct-2023.pdf>



環境的な課題と取り組み

カカオ生産による森林破壊、生物多様性の損失を防ぐ

環境的な課題

- 世界の森林面積の約40億ヘクタール（地球の陸地の面積の約1/3）のうち、1990年以降、**約10%にあたる森林が消失***1
- 農業における環境破壊の実態と要因

農地開拓による 森林破壊

森林伐採、焼き畑農業、モノカルチャー（一種類の作物を栽培する単一栽培）により、多くの森林が消失

生物多様性 の損失

森林破壊により生物の生息地が奪われ、複雑で多様な生態系を破壊

大気汚染や 温暖化の進行

森林破壊による炭素吸収源の消失、焼き畑農業等による炭素の放出などにより、大気汚染や地球温暖化が進行

課題に対するプラットフォームの取り組み例

- **環境に配慮した農法の普及促進**
森林伐採後の土地を整え多種の植物を共生させて栽培するアグロフォレストリー農法等に関する取り組み事例を共有
- **環境に配慮して生産された原料・製品の流通促進**
国際認証機関・NGO等により、環境に関する配慮が証明されたカカオ原料・チョコレート製品の流通促進に向けて、情報を共有
- **サプライチェーンの透明化の推進**
環境に配慮して生産されたカカオ豆の流通拡大を目指し、生産地の情報を把握するためのトレーサビリティ確立に向けた情報を共有



Source

*1 国連食糧農業機関（FAO）“Global Forest Resources Assessment”（2020）
<https://www.fao.org/documents/card/en/c/ca8753en>

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム HP・問い合わせ先

プラットフォームの詳細は以下ウェブサイトをご確認ください。

入会をご希望の企業・団体・個人の方につきましては、
ウェブサイト上のフォームよりお申し込みください。

ウェブサイト:

[https://www.jica.go.jp/activities/
issues/governance/platform/index.html](https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html)



JICAガバナンス・平和構築部

「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」事務局

sustainable.cocoa@jica.go.jp



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム